

# ふるさと探訪

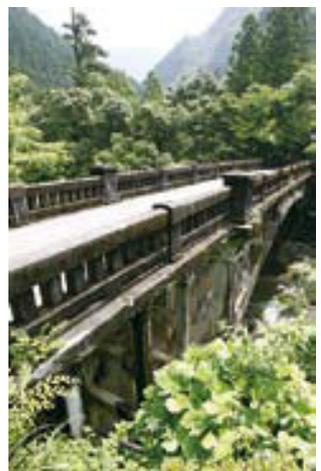
## 第51回 大宮橋



主要地方道西条久万線の、石鎚登山ロープウェイ山麓下谷駅付近から、さらに500㍎ほど進むと、コンクリート製のモダンな橋が架かっています。西之川地区と東之川地区を結ぶ「大宮橋」です。コンクリート製の橋ということと無機質な感じを受けるかも



しれませんが、支柱はギリシヤ建築様式を模した優美なデザインで、「山あいのこんな静かな所にどうして？」と、そのロマンあふれる美しさに思わず息を飲んでしまいます。「コンクリート造開腹式上路アーチ橋」は県下に5例しかなく、その中でもこの橋は、橋長42・9㍎、幅員4㍎と最大規模で、竣工時期も1927（昭和2）年と2番目に古いものです。こうしたことから、平成17年には（社）土木学会が選奨土木遺産として認定し、その優美なデザインは後世に残したい貴重な近代土木遺産であるとされました。



滴り落ちそうな木々の深緑や渓谷の清冽な流れと過ごした80年を超える時間の中で、大宮橋は静かに苔むしていきま<sup>こけ</sup>す。仕様の美しさだけでなく、その孤高さを保つ姿にも心を打たれます。

### ■所在地

西之川135-1地先

